



佐呂間町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とされる気候変動の影響により、世界各地で深刻な自然災害が発生しています。また、国内においても、猛暑や集中豪雨、大型台風などが頻発し、佐呂間町においても農業、漁業などの基幹産業や、住民の生活環境への影響が懸念され、気候変動対策は喫緊の課題となっています。

2015年に採択されたパリ協定では、「世界的な平均気温上昇を1.5℃に抑える努力を追求する」という目標が掲げられました。この目標の達成のためには、「2050年までに二酸化炭素の実質排出量をゼロにすることが必要」とされています。

地球温暖化対策は、今を生きる私たちの社会的責務であり、佐呂間町においても、町民、事業者、行政が一丸となって再生可能エネルギーの有効利用や省エネルギー活動に取り組んでいくことが大切です。

佐呂間町の掲げる「自然の恵みに感謝し、人が人を支え、共に創(つく)る、生涯の郷(さと)、サロマ」の実現に向け、サロマ湖に代表される豊かな自然環境を守りつつ、地域の持続的な発展を目指しながら、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを次の世代へ引き継ぐため、佐呂間町は、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」をここに宣言します。

令和8年(2026年)4月1日

佐呂間町長 武田 温友